



2019年3月期 第2四半期 決算説明会資料

因幡電機産業株式会社 東証一部：9934

2018年12月4日

- 2019年3月期 第2四半期 決算概要
- 今後の事業戦略
- 2019年3月期 業績予想
- 株主還元

見通し、計画、目標等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

連結損益計算書

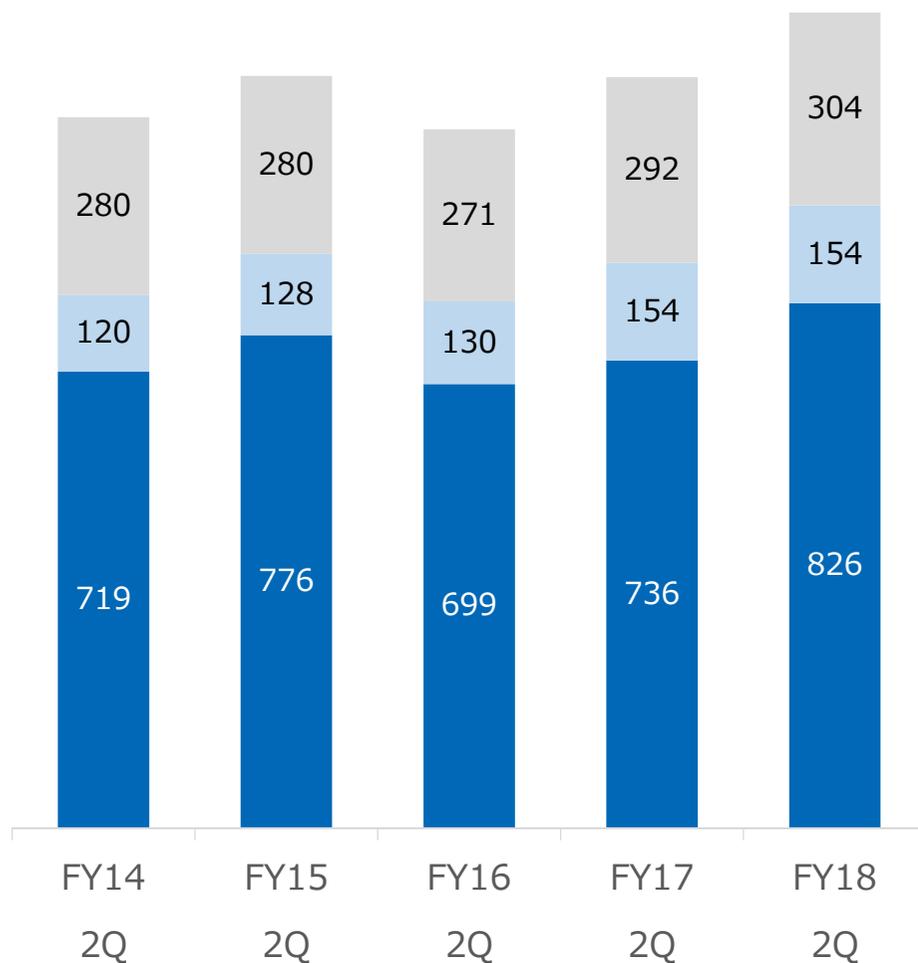
(百万円)

	FY17 2Q	構成比	FY18 2Q	構成比	増減額	増減率
売上高	118,367	100%	128,570	100%	10,202	8.6%
売上総利益	20,164	17.0%	21,387	16.6%	1,223	6.1%
販管費	13,652		14,270		617	4.5%
営業利益	6,512	5.5%	7,117	5.5%	605	9.3%
営業外損益	157		358		200	
経常利益	6,670	5.6%	7,475	5.8%	805	12.1%
特別損益	7		-32		-40	
税金等調整前 四半期純利益	6,677	5.6%	7,443	5.8%	765	11.5%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	4,480	3.8%	4,956	3.9%	475	10.6%

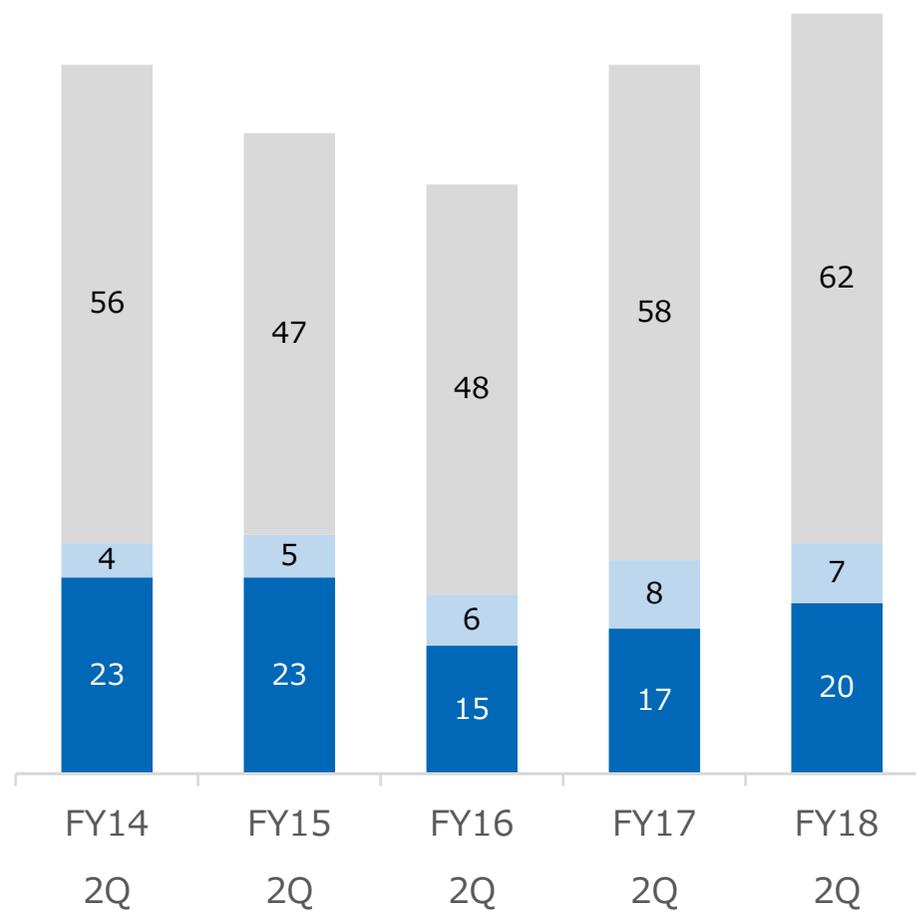
セグメント別 業績推移

■ 電設資材 ■ 産業機器 ■ 自社製品

売上高 (億円)

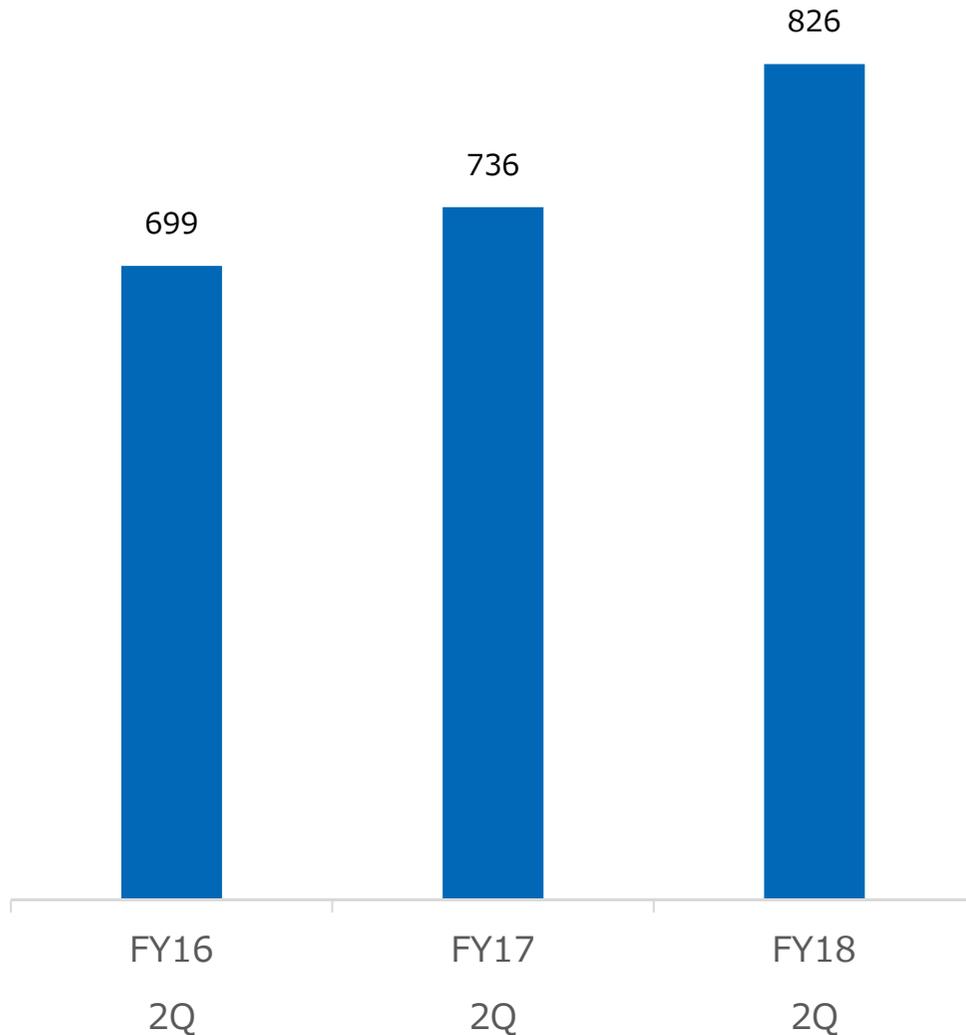


セグメント利益 (億円)



売上高

(億円)



売上高 前年同期比+12.2%

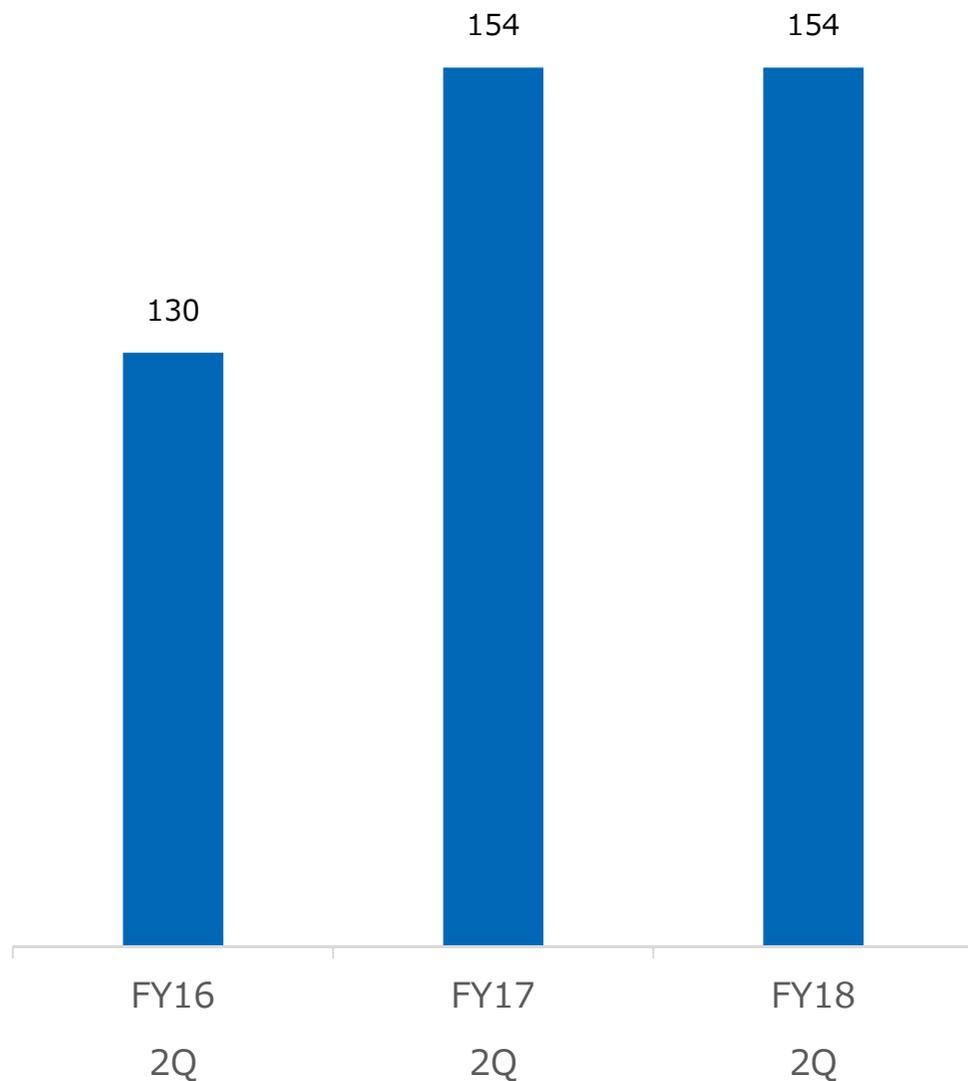
銅価格の上昇に伴う販売単価の上昇などにより電線ケーブル類が増収となったほか、首都圏の再開発などを背景に照明器具や発電機の売上が好調に推移。

参考指標

	前年同期比	
	FY17 2Q	FY18 2Q
民間非居住建築物 着工床面積	+3.5%	Δ1.2%
新設住宅着工戸数	Δ0.7%	Δ1.1%

出所：国土交通省

売上高 (億円)



売上高 前年同期比+0.0%

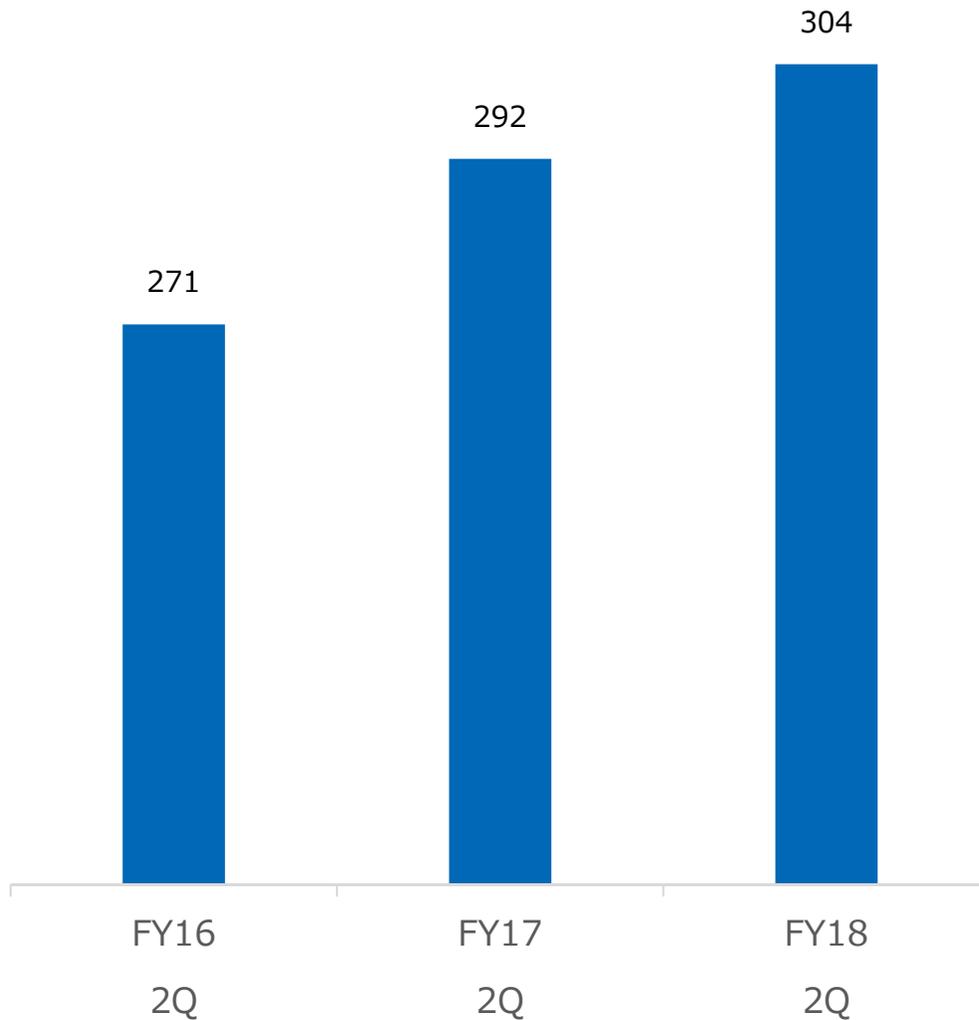
半導体関連の一部で設備投資に慎重な姿勢がみられ、電子部品の販売が減少したものの、人手不足に伴う省力化投資需要の高まりを受け、ロボット関連の売上が増加。

参考指標

	前年同期比	
	FY17 2Q	FY18 2Q
電気制御機器国内出荷額	+10.5%	+1.8%
電子部品・デバイス生産実績	+11.4%	Δ3.3%

出所：日本電気制御機器工業会
電子情報技術産業協会

売上高 (億円)



売上高 前年同期比+4.1%

ルームエアコン出荷台数の増加を背景に、空調配管化粧カバー「スリムダクトシリーズ」や副資材の売上が伸長したほか、銅価格の上昇に伴う値上げなどにより、被覆銅管が増収。

自社ブランド

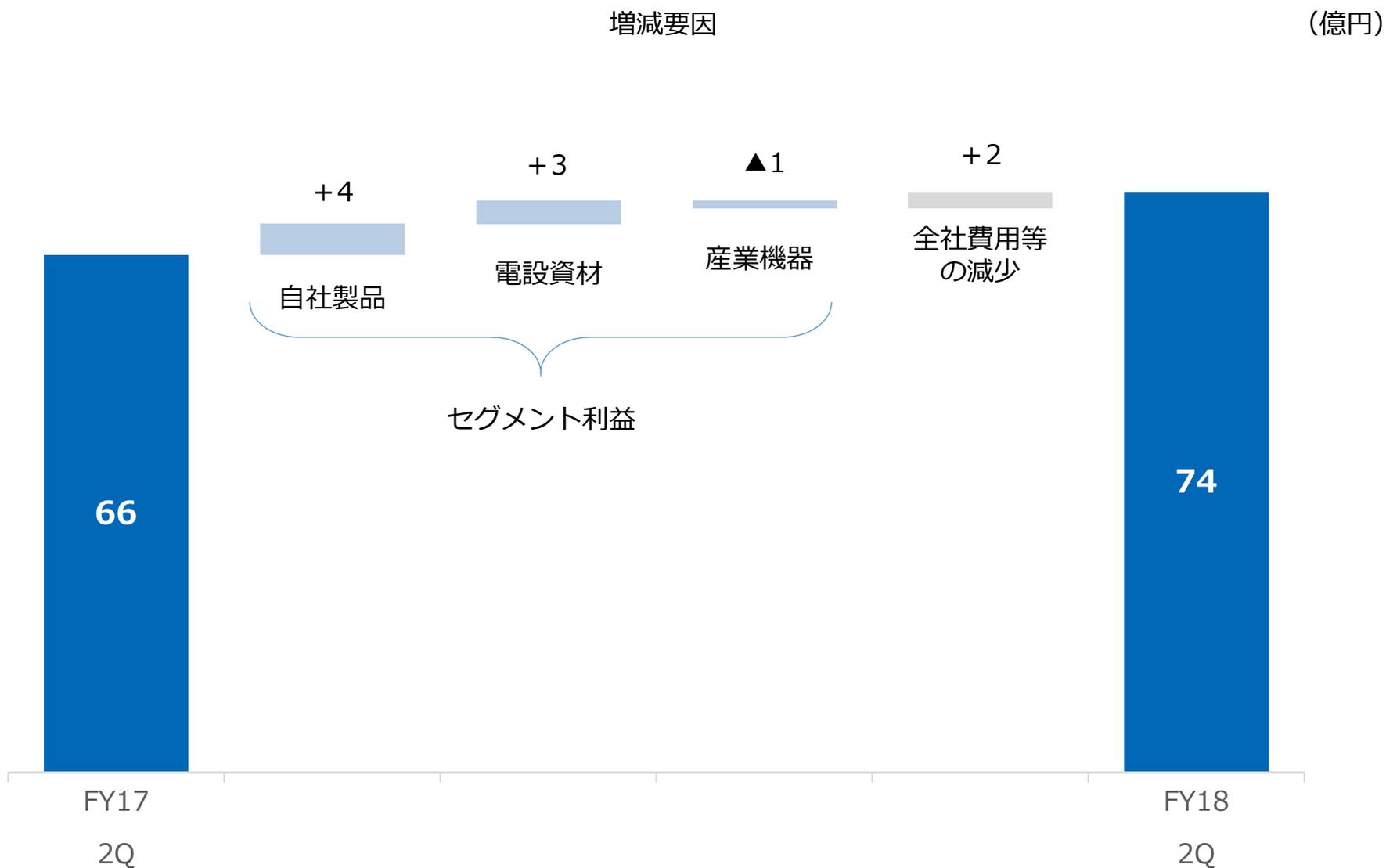
INABA DENKO

Abaniact

PATLITE

KASUGA

税金等調整前四半期純利益



連結貸借対照表

(百万円)

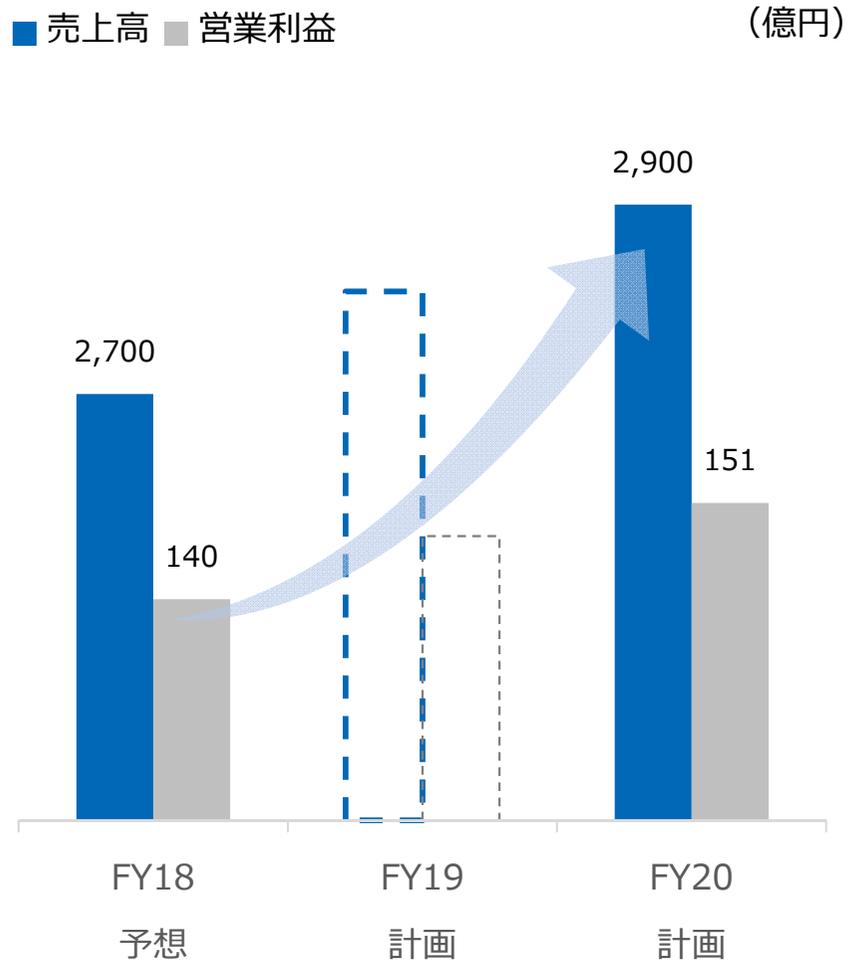
	FY17	構成比	FY18 2Q	構成比	増減額	増減率
流動資産	154,575	79%	146,672	78%	-7,902	-5%
固定資産	41,838	21%	40,722	22%	-1,116	-3%
資産合計	196,414	100%	187,395	100%	-9,019	-5%
流動負債	71,177	36%	58,198	31%	-12,979	-18%
固定負債	6,307	3%	6,922	4%	614	10%
負債合計	77,485	39%	65,120	35%	-12,364	-16%
純資産合計	118,928	61%	122,274	65%	3,345	3%

連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)

	FY17 2Q	FY18 2Q	増減額
営業キャッシュ・フロー	7,514	4,053	-3,461
投資キャッシュ・フロー	1,780	-1,750	-3,531
財務キャッシュ・フロー	-1,380	-1,774	-394
現金及び現金同等物にかかる換算差額	8	0	-7
現金及び現金同等物の増減額	7,922	527	-7,395
現金及び現金同等物の四半期末残高	58,645	59,400	754

中期経営計画



重点施策

自社製品の開発・拡充

省エネ・
省力化ソリューションの推進

首都圏市場における
シェア拡大

グローバル展開の加速

自社製品の開発・拡充

収益力のある自社製品（P B商品を含む）を開発・拡充

INABA DENKO



Abaniact



PATLITE



KASUGA

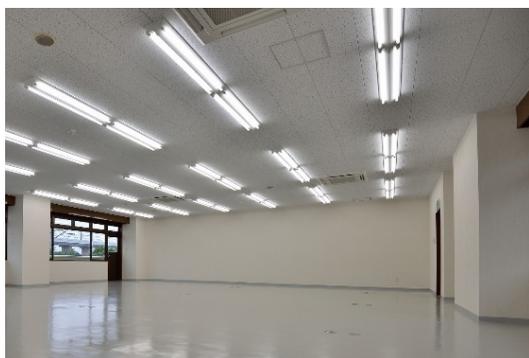


JAPPY



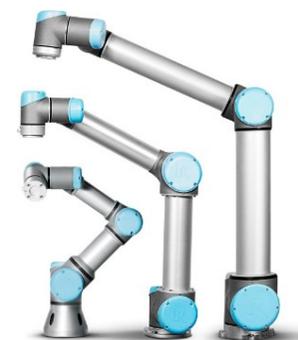
環境配慮型商品

LED照明、太陽光発電など環境に配慮した商品を拡販



協働ロボット

省力化に向けた協働ロボットの導入、システム構築などを支援



ユニバーサルロボット URシリーズ



ABB YuMi



川崎重工 duAro

首都圏市場におけるシェア拡大

東京オリンピック

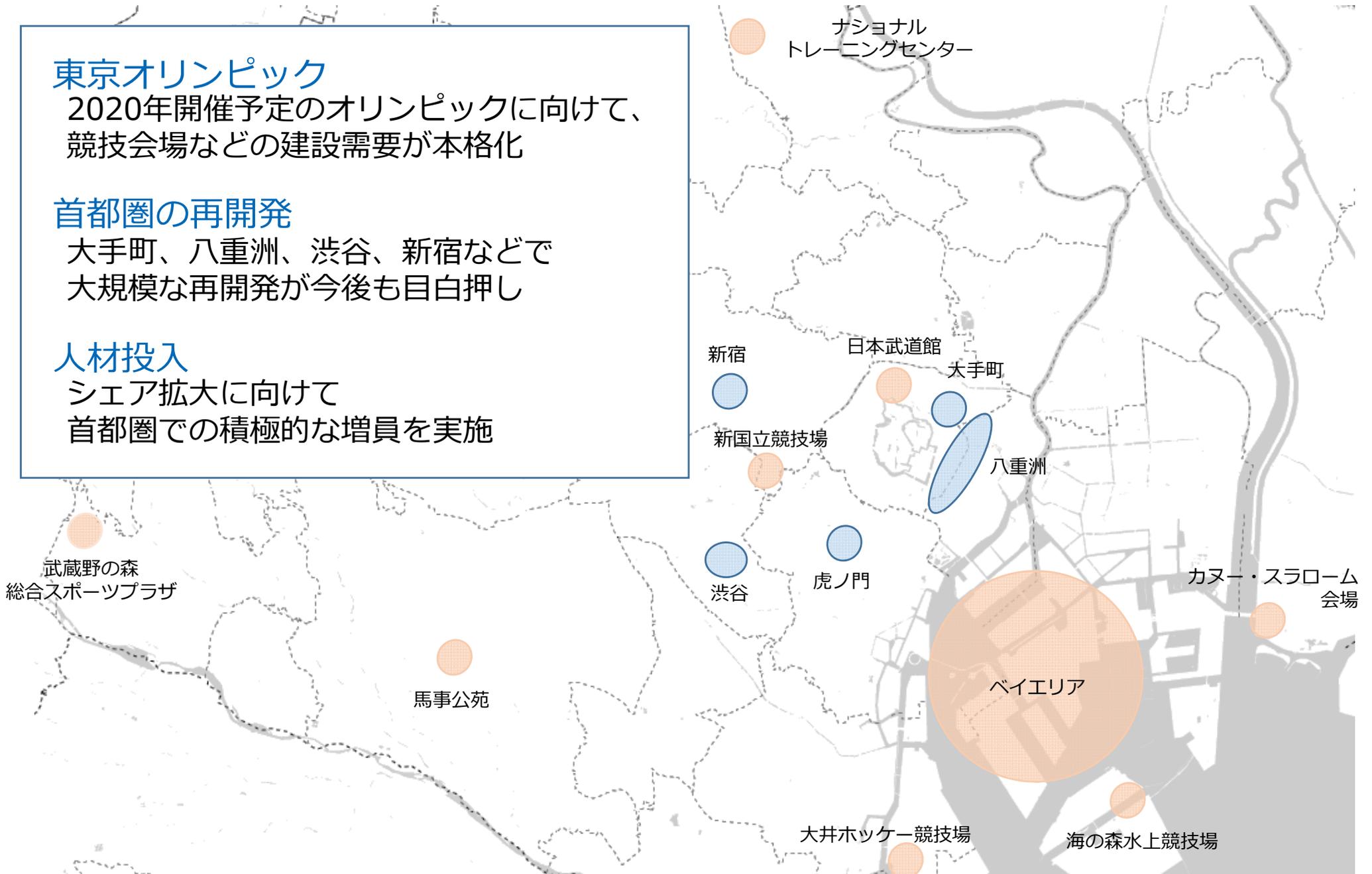
2020年開催予定のオリンピックに向けて、競技会場などの建設需要が本格化

首都圏の再開発

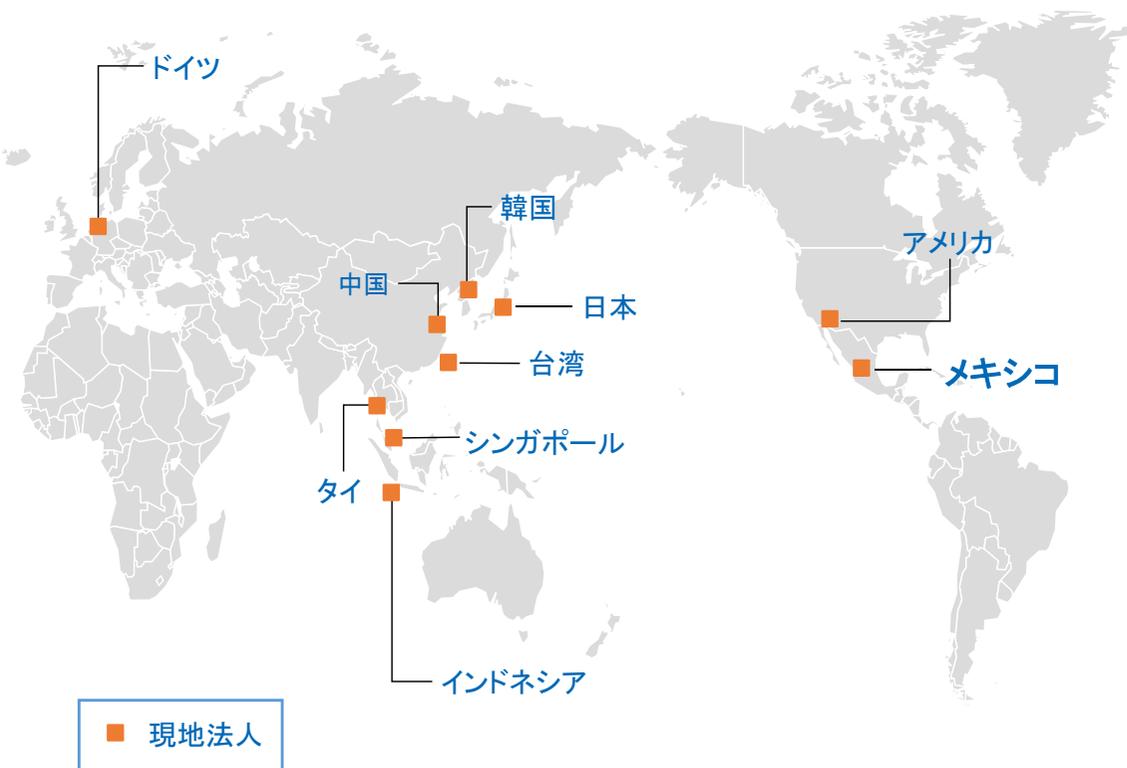
大手町、八重洲、渋谷、新宿などで大規模な再開発が今後も目白押し

人材投入

シェア拡大に向けて首都圏での積極的な増員を実施



グループ一丸で海外展開を推進



PATLITE

グローバルな海外販路の拡充を目指す
2019年1月にメキシコ現地法人設立



空調部材の海外生産拠点として、
24時間稼働の生産体制を構築

2019年3月期 業績予想

(百万円)

	FY17	構成比	FY18	構成比	増減額	増減率
売上高	258,107	100%	270,000	100%	11,892	4.6%
営業利益	13,378	5.2%	14,000	5.2%	621	4.6%
経常利益	13,559	5.3%	14,200	5.3%	640	4.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	8,866	3.4%	9,300	3.4%	433	4.9%

(セグメント別売上高)

電設資材	171,896	67%	182,000	67%	10,103	5.9%
産業機器	31,834	12%	32,000	12%	165	0.5%
自社製品	54,376	21%	56,000	21%	1,623	3.0%

株主還元方針

配当と自己株式の取得を合わせた中期的な総還元性向を50%程度とする

⊕ 2021年3月期までの3期累計で50億円程度を目処として実施

自己株式の取得

2018年10月31日開催の
取締役会における決議内容

取得期間：2018年11月1日～30日

取得方法：市場買付

取得株数：40万株（上限）

取得金額：17億円（上限）

取得結果

取得株数 87,500株

取得金額 4億円

1株当たり配当金

